



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月27日

上場会社名 日本精線株式会社
コード番号 5659 URL <https://www.n-seisen.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 利光 一浩
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 長澤 修一
四半期報告書提出予定日 2023年8月8日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 06-6222-5432

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	10,812	11.5	900	44.8	984	41.7	692	41.2
2023年3月期第1四半期	12,217	14.8	1,632	31.8	1,689	30.1	1,176	28.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 922百万円 (38.7%) 2023年3月期第1四半期 1,505百万円 (61.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	112.85	
2023年3月期第1四半期	191.79	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	53,757	37,872	69.4
2023年3月期	54,054	37,605	68.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 37,301百万円 2023年3月期 37,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		105.00		105.00	210.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		105.00		105.00	210.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,500	9.0	1,900	2.2	1,900	6.8	1,330	6.1	216.87
通期	47,500	3.2	3,800	9.1	3,800	12.0	2,660	13.8	433.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	6,253,038 株	2023年3月期	6,253,038 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	120,260 株	2023年3月期	120,250 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	6,132,782 株	2023年3月期1Q	6,132,995 株

当社は、「株式給付信託(BBT)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

世界経済は、インフレや金利上昇によって米国ならびにユーロ圏において景気の減速傾向がみられるほか、中国でも雇用環境悪化や不動産不況によって景気の減速が進んでいます。日本経済については、インバウンド需要や設備投資が底堅いものの、海外経済の減速や半導体市場の低迷の影響を反映し、景況感の先行きに対する不透明感が大きくなってきています。

このような事業環境の中で、当社及び連結子会社（以下「当社グループ」という。）は2024年3月期を最終年度とする『中期経営計画（NSR23）』において、「日本精線リニューアル（NSR）継続推進と高機能・独自製品でサステナビリティに貢献」を中期スローガンとして掲げ、高機能・独自製品の販売に注力して企業価値向上に努めております。

結果として当第1四半期連結累計期間の売上高は、108億12百万円（前年同期比11.5%減）となりました。損益については、太陽光発電パネルなどの製造プロセスで使用される極細線に対する需要の強さは継続したものの、流通在庫の調整を受けたステンレス鋼線の販売量減少による操業度損増加や、これまで収益の牽引役だった半導体関連業界向け超精密ガスフィルター（NASclean®）の受注減少によって、減益を余儀なくされました。この結果、営業利益9億円（同44.8%減）、経常利益9億84百万円（同41.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億92百万円（同41.2%減）となりました。

製品別の売上状況は次のとおりです。

[ステンレス鋼線]

ステンレス鋼線においては、2022年度上半期の販売量はニッケル価格上昇を見込んだ駆け込み需要が発生し月当たり3,412トンと高水準の推移を維持するも、自動車用途や建材用途の荷動き鈍化が鮮明となり過剰在庫の調整が生じたことから下半期平均2,955トン（上半期比13.3%減）となり、さらに2023年度第1四半期も調整が長期化したため月当たり2,558トン（前第4四半期比11.4%減）となりました。一方、太陽光発電パネルの製造プロセスで使用されるスクリーン印刷向け極細線は、お客さまの細径化ニーズに応える高付加価値製品として好調な受注を確保しました。

なお、LMEニッケル価格については、2020年度第1四半期から右肩上がりの傾向となっていました。ウクライナ情勢の影響もあり2022年度の平均価格がポンド当たり11.63ドル（前期比平均に比してポンド当たり2.28ドル上昇）と急激に上昇しました。2023年度第1四半期は2023年4～6月の平均価格でポンド当たり10.15ドル（2023年1～3月平均に比してポンド当たり1.68ドル下落）と落ち着いてきました。

結果として、当第1四半期連結累計期間におけるステンレス鋼線全体の月平均販売数量は大幅に減少（前年同期比28.0%減）したものの、ニッケル価格高騰による販売単価上昇や極細線の販売増によって売上高92億18百万円（同8.6%減）の減少幅を低減することになりました。

海外現地法人であるTHAI SEISEN CO., LTD. 及び大同不銹鋼（大連）有限公司についても、ステンレス鋼線の販売数量が低迷し、減収となりました。

[金属繊維（ナスロン®）]

金属繊維においては、半導体関連業界向け超精密ガスフィルター（NASclean®）に対する需要が調整局面となりました。その背景には、DRAMやNAND型フラッシュメモリの価格低迷により半導体メーカーが設備投資を先送りしはじめたことが影響しています。2022年度第3四半期連結累計期間の月当たり売上高が4億32百万円と高水準の推移を維持するも、第4四半期は月当たり3億30百万円となり、さらに2023年度第1四半期も調整が継続したため月当たり3億9百万円（前第4四半期比6.4%減）となりました。

ナスロン®フィルターについては、ポリエステルフィルム用途の販売が減少したことに加え、ゼロコロナ政策転換による感染症急拡大によって経済活動に大きな制約を受けた耐素龍精密濾機（常熟）有限公司が低迷したため、2023年度第1四半期の月当たり売上高は2億22百万円（前第4四半期比26.7%減）となりました。

結果として、当第1四半期連結累計期間における金属繊維部門の売上高は15億94百万円（前年同期比25.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は537億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億97百万円減少しました。流動資産は受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ3億58百万円減少しました。固定資産は有形固定資産の増加などにより、61百万円増加しました。

負債は158億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億64百万円減少しました。流動負債は支払手形及び買掛金などの減少などにより、前連結会計年度末に比べ6億13百万円減少しました。固定負債は退職給付に係る負債が増えたことなどにより49百万円増加しました。

純資産は378億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億66百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績は概ね2023年4月27日公表の予想どおりに推移しており、業績予想に変更はございません。

尚、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,657	14,660
受取手形及び売掛金	8,810	7,973
電子記録債権	1,340	1,533
商品及び製品	2,871	2,994
仕掛品	5,080	5,113
原材料及び貯蔵品	3,280	3,454
その他	291	243
流動資産合計	36,332	35,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,380	5,355
機械装置及び運搬具(純額)	6,623	6,864
土地	1,646	1,653
リース資産(純額)	16	15
建設仮勘定	1,342	1,226
その他(純額)	590	571
有形固定資産合計	15,601	15,685
無形固定資産	202	201
投資その他の資産	1,918	1,895
固定資産合計	17,721	17,782
資産合計	54,054	53,757
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,660	7,154
短期借入金	315	259
未払法人税等	540	323
賞与引当金	703	371
役員賞与引当金	33	-
その他	1,759	2,290
流動負債合計	11,012	10,398
固定負債		
長期借入金	338	338
役員株式給付引当金	33	41
退職給付に係る負債	4,739	4,806
環境対策引当金	172	172
その他	153	128
固定負債合計	5,436	5,486
負債合計	16,448	15,884

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	5,558	5,558
利益剰余金	26,201	26,244
自己株式	△400	△400
株主資本合計	36,359	36,401
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17	19
繰延ヘッジ損益	△0	△1
為替換算調整勘定	765	967
退職給付に係る調整累計額	△95	△86
その他の包括利益累計額合計	686	899
非支配株主持分	559	571
純資産合計	37,605	37,872
負債純資産合計	54,054	53,757

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	12,217	10,812
売上原価	9,706	9,052
売上総利益	2,511	1,760
販売費及び一般管理費	878	859
営業利益	1,632	900
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	0	0
仕入割引	5	5
受取補償金	12	6
受取賃貸料	6	6
為替差益	35	31
雇用調整助成金	-	33
その他	0	0
営業外収益合計	63	88
営業外費用		
支払利息	0	1
支払補償費	4	2
固定資産除却損	0	0
その他	1	0
営業外費用合計	6	4
経常利益	1,689	984
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,689	984
法人税、住民税及び事業税	381	207
法人税等調整額	114	83
法人税等合計	496	290
四半期純利益	1,193	693
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,176	692

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,193	693
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	2
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	305	218
退職給付に係る調整額	9	9
その他の包括利益合計	312	228
四半期包括利益	1,505	922
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,459	904
非支配株主に係る四半期包括利益	46	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。